



# 絶滅危惧種の ミヤジマトンボ、 国内で唯一生息

ラムサール条約第11回締約国会議（COP11）がルーマニアの首都ブカレストで7月6日から13日にかけて開催され、その日に宮島がラムサール条約湿地に登録簿に掲載されました。ラムサール条約とは、国際的に重要な湿地や、そこにすむ動



写真上/ヤゴから羽化して間もないミヤジマトンボ（メス）。写真下/成熟したミヤジマトンボ（オス）。写真提供 環境省中国四国地方環境事務所

現在の廿日市の  
貴重な自然環境を  
次世代に  
引き渡しましょう！



廿日市市環境マスコット  
キャラクター「ハーツ君」

植物の保全を促進することを目的とし、1975年に発効されました。宮島にはミヤジマトンボという環境省と広島県の絶滅危惧1類に分類され最も絶滅が危険視されているトンボが、国内に唯一生息しています。そうしたトンボを守るため、生息地である宮島がラムサール条約湿地に登録されました。ミヤジマトンボの体長は約5cmで、胴体に白や黒の斑点があるのが特徴です。また、他のトンボのヤゴがいるとミヤジマトンボのヤゴは食べられてしまうため、他のトンボのヤゴが生きているとができない汽水域という特殊な環境でしか生息できない、弱いトンボです。厳島神社という文化遺産もありながら、ラムサール条約湿地に登録されたことにより、今後宮島は自然環境にも貴重な島であることが認められ、国内外からさらなる注目を浴びることが予想されます。そうした宮島を将来の人々に引き継ぐためにも、現代を生きる我々が自然環境を大切に、保全していくことが重要になります。

## 目の不自由な人のために

- 「広報はつかいち」のカセットテープ、デイジー図書、点訳本があります。  
問合せ 廿日市市社会福祉協議会 ☎0294
- 音声読み上げのための「広報はつかいち」のテキスト版をホームページに掲載しています。  
問合せ 広報統計課 広報統計係 ☎09121

## 編集後記

今月の特集は、オープンから1年が経過した「みやじまリン」。8月1日には記念セレモニーが行われ、1日名誉館長のさかなクンもやってきました。昨年生まれたコツメカワウソの「アラタ」は、生まれてすぐに、みやじまリンのアイドルに。現在もその愛くるしい姿で人気者です。

3月に仲間入りしたトドの「ヨネタロー」は、メスの「コマチ」に求愛中。スナメリの「ゴウ」も3頭のメスと仲良くしています。みやじまリンに新しいアイドルが生まれるのはそう遠くはなさそうです。

さて我が家では、いただいたメダカの卵がふ化し、たくさんのメダカの赤ちゃんが水槽を泳いでいます。よく見ないと見つけられないくらい赤ちゃんと見えますが、日々増えていく我が家のアイドルに、家に帰るのが楽しみな今日この頃です。

川辺

発行 廿日市市 〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号 ☎0829@0001代・FAX0829@1059  
編集 分権政策部 広報統計課 広報統計係  
ホームページアドレス <http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/>

●市政ラジオ放送 FMはつかいち 76.1MHz  
月～金曜日 8：40～8：55 13：10～13：25 17：10～17：25 土曜日 9：10～9：25

◆人口と世帯数 7月1日現在 ( )は前月比  
人口：117,942人（-85人） 男性：56,619人（-29人） 女性：61,323人（-56人） 世帯数：49,067世帯（-20世帯）